

高 第1学年 進路だより



山口県立下関西高等学校 進路指導部

令和7年12月1日発行

早いもので令和7年もあと1か月となりました。皆さんにとっては、この1年は大きな変化のある年であったと思います。中学校を卒業し4月から高校生となり、責任ある行動がより求められるようになり、自分で考えて行動しなければならないことも増えたことと思います。高校卒業後の進路選択には中学校卒業時とは比べ物にならないほどの選択肢があります。皆さんの多くは大学進学を考えているかもしれませんが、偏に大学と言ってもどの学校に行くのか、どの学部で学ぶのか、更に言うところ日本国内なのか海外なのか、など多くの選択をしなければなりません。もちろん、大学進学以外にも就職や専門学校などたくさんの選択があります。そんな膨大な選択肢の中から、あなたはどの道を選びますか。全員が「最適」な道を選ぶことはなかなか難しいかもしれませんが、できる限り納得のいく選択をしてほしいと思います。そのために大切なことは、高校1年生である今から自ら行動を起こすことです。

新年を迎える前にまずは、4月からこれまでどのような活動に取り組み、そこで何を学び、何を感じたか、何に興味をもったか、など振り返ってみてください。今号の進路だよりでは、2学期に行われた九州大学訪問、キャリアセミナーについて一緒に振り返りたいと思います。

〈九州大学訪問〉

九州大学訪問では、第一にキャンパスの広さや大学設備に驚いた人が多かったのではないのでしょうか。また、学生たちを見て、(良くも悪くも)自由に学生生活を送る様子に憧れを感じた人もいたようですね。文理探究科は農学部、普通科は共創学部を訪れ学部説明をしていただき、大学で学ぶことへのイメージが少し湧いたことと思います。自分で研究テーマを設定し深く研究することの面白さや困難さ、学問研究の社会とのつながりや意義など多くのことを学ぶことができました。日々高等学校での勉強に真剣に取り組んでいる皆さんですが、大学入学や就職がゴールでは決してありません。人生を通して学び続けることの喜びを、ぜひ実感して勉学に励んでみてください。

さて農学部や共創学部の説明を通して、そうした学部に興味をもった人もいるのではないかと思います。「興味をもった」で終わらず、具体的にはどのような教育や研究がされているのか、他の大学ではどうなのか、社会とどのような関連性があるのか、など自分でどんどん調べてみましょう。学校行事のような全員に与えられた機会にとどまらず、それを踏まえて自分から動くことで、あなたらしいキャリア選択につながります。

一方で、今回説明を受けた学部にはあまり興味をもたなかったという人も当然いるはずです。そうした人にとって今回の訪問は意味がなかったのかというと、決してそんなことはありません。詳しく知らずに自分には合わないと思ってしまうことと、知ったうえで他の選択肢を選ぶことは全く違います。今こそ、様々な学問分野について積極的に調べる姿勢を見せてください。世の中には皆さんの知らない学問や表層だけ知り知ったつもりになっている学問がたくさんあるはずです。

話は少し変わりますが、普通科が訪れた共創学部説明では、教授から「毎年100冊の本を読みましょう」という言葉をいただきました。皆さんは今年一年で何冊の本を読みましたか？最低でも10冊くらいは読んでおいてほしいですが、いかがでしょうか。かく言う私も正直年間100冊はハードルが高いなと感じましたので偉そうには言えませんが…私は1、2週間に1度は西高の図書館を訪れ、本を借りて読むようにしています。ぜひ、皆さんも時間を見つけて本を読む習慣を身に付けてみてください。読書により知識を得、言語運用力が高まるだけでなく、人生を通じたキャリア選択に多くのヒントをあなたに与えてくれるはずです。まずは図書室に足を運んでみましょう。

〈キャリアセミナー〉

11月14日(金)に実際に社会で活躍されている13名の講師をお招きし、キャリアセミナーを実施しました。以下皆さんの感想を一部抜粋して紹介します。

・エンジニアという職業のなかにもたくさんの種類があるのだと驚きました。これまでエンジニアと言っても、具体的に何をするのか想像できていませんでしたが、今回の話を聞いて自分たちが安全に暮らせているのは土木エンジニアのおかげであると気づくことができました。

・カウンセラーの仕事についてやりがい、辛さをともお話していただき、思っているよりもずっと過酷な仕事なのだと思います。患者さんの話を聞くときに辛くなるのは当たり前で、感受性が豊かすぎる人でも向いている、というお話を聞いて安心しました。映画、読書、音楽に触れるなど感情や感性を刺激するものにたくさん触れ、感情を受け取るアンテナを育てていきたいと思います。

・海洋を地震という切り口で見ていくのがとても面白かったです。現場で研究をされてきた方のお話はとても生き生きとしていて、研究職の魅力が伝わってきました。地震がどのように起きるのかはなんとなく知っていましたが、どのような過程によって深掘りしていくかということは知らなかったので、とても興味深かったです。

・自分がいま最も興味がある「教育」のことについて知ることができました。気になっていたやりがいや、授業の作り方を知ることができ、有意義な時間となりました。「すべての出会いや経験に無駄なものはない」という言葉が最も印象に残り、経験や出会いを大切にしていこうと思えました。これからの学校生活にも生かしていきたいと思います。



キャリアセミナーを通じて多くのことを学び、感じたと思います。皆さんの感想を読んで、「これから〇〇をしたい。」という前向きな言葉が多く素晴らしいと感じました。次は行動に移す時です！

人生100年時代とも言われるこれからの社会では、マルチステージの人生という言葉をよく耳にします。従来の教育→仕事→引退の3ステージではなく、一人ひとりが様々なスタイルのキャリアを形成していくことが予想されます。その中では、生涯を通じて学び続ける姿勢や職場や職種の転換にも対応できる資質能力の獲得などが求められます。大学に入ること（その他の進路選択も同様）がゴールではなく、その先の長い人生をどう過ごしていきたいか、広い視野をもって考えましょう。

ここでは2学期に行われた2つの行事を振り返りましたが、4月から考えると他にも多くの学校行事があり、また各自で申し込み参加した取り組みなどがあったと思います。今年中にそうした活動に関してまとめ、振り返っておくと良いです。その際には、①何を学び、感じたか、②自分には今何が足りないと感じたか、③これから何をすべきだと感じたか、を中心に考えてみてください。

今日の自分より明日の自分がほんの少しでも成長していけるように、目の前のことに一生懸命取り組み、そして何事にもチャレンジし続ける！それが西高生です。

補足トピック① 模試の復習をしよう。

10月に実施された第2回高1駿台全国模試（普通科は希望者）の結果が返却されました。手強い模試でしたね。思うような結果の出た人、そうでない人ともにこれからもどんどん困難に立ち向かっていきましょう。また、11月に実施されたベネッセ総合学力テストの結果がまもなく返却されます（マネビジョンではすでに見られるはず）。模試をやりっぱなしにするのではなく、必ず復習しましょう。「できないこと」に出会うことはありがたいことです。それを放置するのではなく、しっかりと復習して次に進むことが大切です。

次の学校実施の模試は1月17日（土）第3回高1駿台全国模試を全員で受験します。難易度の高い模試ですが、チャレンジ精神で全力で取り組む！

補足トピック② 英語外部検定試験に積極的に挑戦しよう。

実用英語技能検定（英検）の申し込みが12月1日（月）～3日（水）となっています。英検の他にもTEAP、IELTS、TOEIC、GTECなど様々な検定試験があります。大学によって活用できる検定試験に違いがあるので、大学調べをする際に合わせてチェックしてみてください。具体的には、大学入試における加点やみなし満点（共通テストや2次試験の英語が満点計算される！）などの優遇措置が与えられたり、時には出願条件（取得しておかないと受験できない）となったりすることもありますので、早めに挑戦して好スコア取得を目指すことをおすすめします。